

別紙

## 温室効果ガス削減実施状況報告書

### 1 事業の概要

#### (1) 事業所の名称

イオンモール広島府中

#### (2) 事業所の所在地

広島県安芸郡府中町大須2-1-1

#### (3) 業種

貸貸貸業務

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成19年度を基準年度とし、平成29年度から令和3年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成19年度	令和3年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	9110	7798 14.4	8252 9.4	9163 -0.6	8650 5.0	7910 13.2	6411 29.6
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 実排出量総計	9110	7798 14.4	8252 9.4	9163 -0.6	8650 5.0	7910 13.2	6411 29.6
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	1128.11月から増床棟がオープンし、エネルギー起源のCO <sub>2</sub> 排出量が増えた。一部空調機を更新した。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 売場面積、営業時間

温室効果ガスの種類	基準年度の 実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
			平成19年度	令和3年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	9110	7798 14.4	8252 9.4	9163 -0.6	8650 5.0	7910 13.2	6411 29.6
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 総排出量	9110	7798 14.4	8252 9.4	9163 -0.6	8650 5.0	7910 13.2	6411 29.6
エネルギー消費原 単位(原油換算 kl)	0.03331	0.02851 14.4	0.01394 58.1	0.01031 69.0	0.01000 70.0	0.009831 70.5	0.008773 73.6
実績に対する 自己評価	増床棟には、LED照明全灯に採用し、空調は既存水蓄熱設備を拡張することで、エネルギー消費の原単位を削減することができた。 ※増床棟オープン：H28年11月						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	エネルギー消費 原単位の削減	基準年度(平成19年度)の原単位 に対し、73.6%削減	増床棟の照明にLEDを採用 増床棟の空調の一部にGHPを採用 既存棟の照明をLEDにリプレイス 空調機の更新を実施
2			
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1	特になし	
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
	再生可能エネルギー による発電	2018年度年間発電量 560MWH	充電専用の太陽光発電設備発電容量 500KWを設置し、2018年10月より運 用している。

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。